

赤平市の子どもたちの学力の状況

～平成 30 年度標準学力検査(NRT)の結果報告～

平成30年10月
赤平市教育委員会

本年度も赤平市の児童生徒の学力の状況を客観的に把握し、今後の改善方策を明らかにするため、市内の全ての小・中学校の小学校第2学年から中学校第3学年で標準学力検査(NRT)を実施しました。

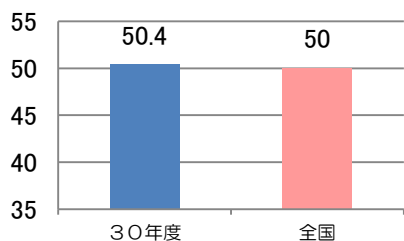
また、本年度から、小学校第4～6学年で社会と理科も実施することとしました。

検査の結果は各家庭に個票として配布されています。

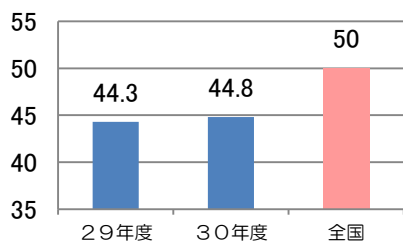
ここでは、赤平市全体における平成 27～30 年度の経年推移について、全国の偏差値平均 50 を基準とした相対値でお知らせします。

小学校

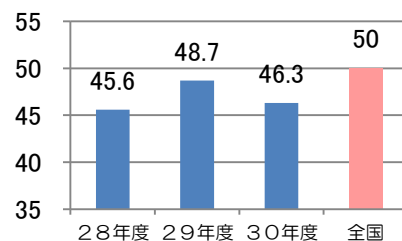
2 学年国語



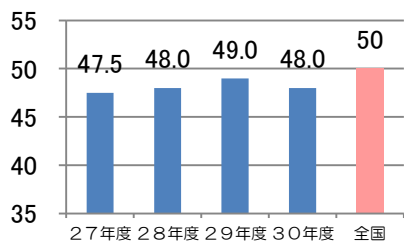
3 学年国語



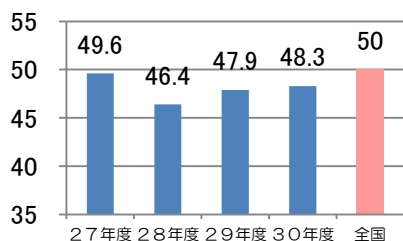
4 学年国語



5 学年国語



6 学年国語

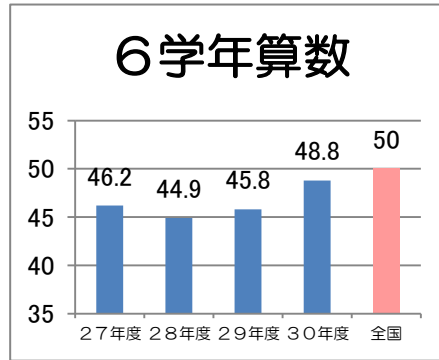
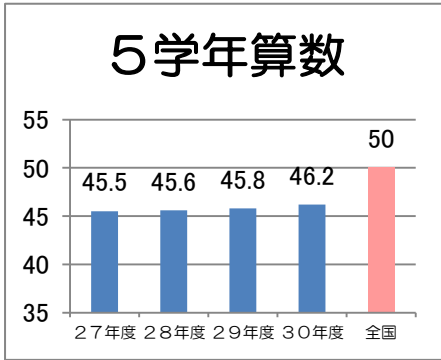
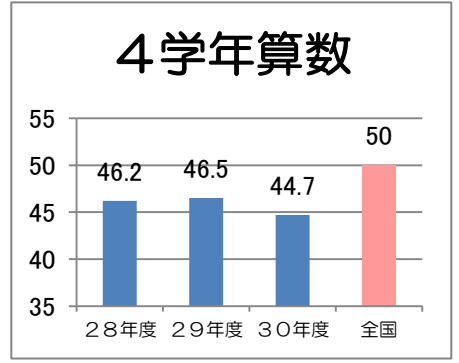
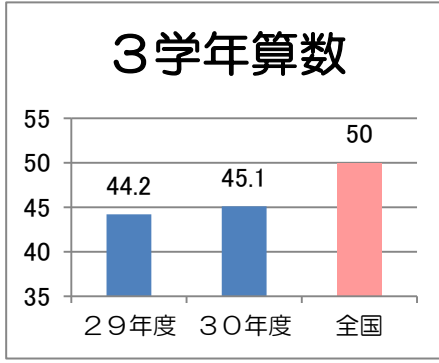
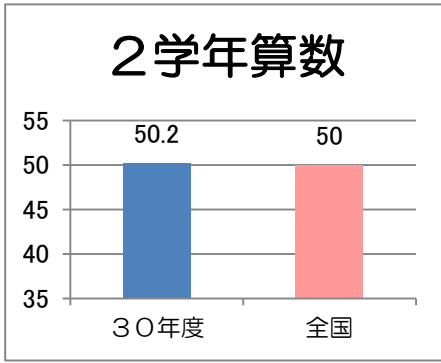


注1 NRTは第2学年から行うため、本年度の2学年は本年度だけ、3学年は昨年度と本年度の2年間、4学年は28年度から3年間の結果になっています。

注2 グラフは、同一学年の推移を表しており、例えば4学年であれば、2学年時から本年度までの推移を表しています。

【本年度の検査結果】

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
2 学年	大事なことを聞き取ること 文や文章を正しく書くこと 説明的な文章を読むこと 丁寧な文と普通の文 片仮名の書きと漢字の読み	
3 学年		主語・述語を正しくおさえること
4 学年	目的に応じて構成を考えて書くこと 辞書を活用すること	話題に沿って話し合うこと 文学的な文章を読むこと ローマ字を書くこと
5 学年	話の中心に気を付けて聞くこと 辞書を活用すること 修飾・被修飾の関係、接続語	目的に応じて話すこと
6 学年	話し手の意図を考えて聞くこと 文学的な文章を読むこと 敬語について知ること	



【本年度の検査結果】

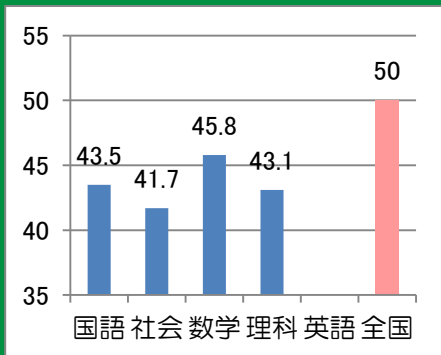
	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
2学年	たし算とひき算 時刻の読み方 ものの形	
3学年		たし算とひき算の関係 かけ算の式
4学年	小数の表し方や計算	かけ算
5学年		がい数と四捨五入 分数とその計算 いろいろな図形、平行・垂直
6学年	整数と小数のしくみ 体積 立体図形の性質 2つの量の関係、関係を表す式 円グラフ・帯グラフ	

★国語、算数とも、ほとんどの学年で基礎学力が身に付いてきています。
★習得した知識・技能を活用して課題を解決する能力の育成が課題です。

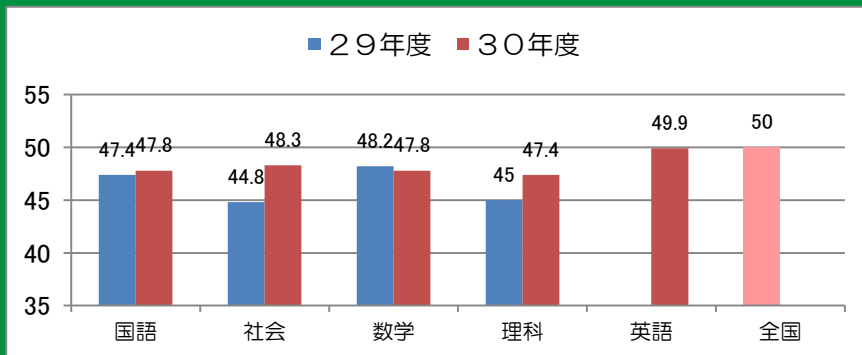
- 第2学年が国語、算数とも全国平均を上回っており、入門期の学習内容が定着しています
- 他の学年についても、国語、算数とも平均数値が上昇している学年が多く、学習内容が積み上がってきていることがうかがわれます。
- 第4学年が国語、算数とも平均数値が下降しました。いずれの教科も第3学年までの学習内容が出題されています。
 第3学年の国語では、第2学年までに学習する漢字 240 字に加え、200 字を学習します。また、ローマ字も学習します。
 第3学年の算数では、新しく、わり算、小数、分数を学習します。また、既習事項を活用して考える問題も増えてきます。
- こうしたことから、学習内容がはがれ落ちないように、定期的に繰り返しの学習に取り組みせるとともに、習得した知識・技能を活用して課題を解決する学習を充実する必要があります。

中学校

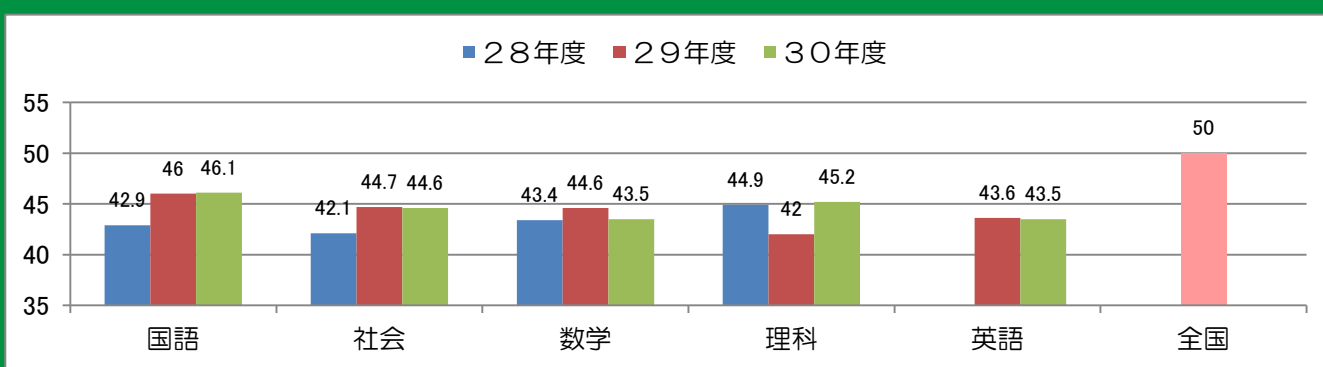
1 学年



2 学年



3 学年



注1 英語は第2学年から実施しています。

注2 グラフは、同一学年の推移を表しており、例えば3学年であれば、1学年時から本年度までの推移を表しています。

1 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語		書く事柄や組み立てを考え書く 表現の効果を確かめ、正しく書く
社会	国民主権と政治の仕組み	日本の気候と暮らし 日本の国土と世界の主な国々 都道府県の名称と位置 貴族の世の中 武士の世の中 国際連合のしくみと働き
数学		整数の性質 文字を用いた式
理科		てこの規則性 物の溶け方と水溶液の性質

2 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語	古典的な文章に親しむこと 語句や表現技法についての理解	話題をとらえ話し合うこと
社会	南北アメリカ州 歴史の流れと時代区分 室町幕府と民衆の成長	

数学	平面図形 資料の散らばりと代表値	比例と反比例
理科	水溶液	
英語	質問や依頼に適切に応じる 英文を正しく読み取る 長文の大切な部分を読み取る 伝言・手紙・メモに適切に応じる 基本的な単語や英文を書く 適切な表現を用いて書く	

3 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語	古典的な文章に親しむこと	単語の活用や助詞・助動詞の働き
社会		日本の地域構成
数学		文字式の計算と利用 連立方程式 図形の性質、三角形の合同、証明 1次関数
理科		電流の性質とはたらき
英語		考えや気持ちを正しく伝える 伝言・手紙・メモに適切に応じる 適切な表現を用いて書く

★第2学年で学習の成果が現れています。

★基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が課題です。

- 第2学年は、全ての教科で平均数値が上昇しており、特に、英語は全国平均に達するなど、中学校での学習の成果が現れています。
- 一方、第1学年は、全国平均と比較して全ての教科で4～8ポイント程度低い結果となっており、小学校における各教科の指導内容の確実な定着が求められます。
- また、第3学年は、教科によってバラツキはありますが、総じて伸び悩みの傾向がみられ、全国平均と比較して4～6ポイント程度低い結果となっていることから、各教科で課題となっている領域・分野における基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が必要です。

赤平市教育委員会は、以上の結果を踏まえ、

- ・新学習指導要領の趣旨等を踏まえた授業改善
- ・学習指導の工夫・改善による個に応じた指導の一層の充実
- ・ほっかいどう「チャレンジテスト」などの学力向上推進事業の実施
- ・家庭学習の手引や生活リズムチェックシートの活用促進など、家庭における生活習慣の改善や家庭学習の充実

を学校全体で推進するよう指導を行います。

また、赤平市学生ボランティア活用事業や公設塾（子ども塾）の開設、ICT機器の充足、学校支援員等の人的環境の充実、漢字検定等の費用補助等、教育条件の整備を通じて、各学校の学力向上に向けた取組を支援していきます。